

令和元年 10 月 8 日

◎上田（貢）委員長 ただいまから、危機管理文化厚生委員会を開会いたします。

（9 時 58 分開会）

### 《委員長報告取りまとめ》

◎上田（貢）委員長 本日の委員会は、「委員長報告の取りまとめについて」であります。

委員長報告の文案については、お手元に配付してありますので、その内容の検討をお願いいたします。

報告書案を書記に朗読させます。

◎書記 危機管理文化厚生委員会が付託を受けた案件について、その審査の経過並びに結果を御報告いたします。

当委員会は、執行部関係者の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案、第 4 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案、第 7 号議案、第 13 号議案、以上 8 件については全会一致をもって、いずれも可決すべきものと決しました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

初めに、地域福祉部についてであります。

第 5 号「高知県民生委員定数条例の一部を改正する条例議案」について、執行部から、現行の定数を定めて以降の人口変動等により、民生委員の区割りの見直し等が必要となっている。このため、本年 12 月に予定している民生委員の一斉改選に合わせ、定数の見直しを行うものであるとの説明がありました。

委員から、多岐にわたる地域の困り事などに対応してもらうための民生委員の能力向上については、どのような手だてがとられているのか。例えば、ひきこもりの方に向き合うかによって求められる能力に違いが出てくると思うがどうかとの質疑がありました。

執行部からは、新任、中堅、それぞれの民生委員に向けた研修を行っており、傾聴の技法などを学んでいただいている。ひきこもりの方の支援では、顕在化していない問題を抱える方を見つけ、ひきこもり地域支援センターなど、専門的な機関の相談・支援につなげていただく役割をお願いしている。民生委員に過度の負担がかからないように、地域の関係機関が連携して支援する体制を整えたいとの答弁がありました。

別の委員から、民生委員の確保対策がうまくいっているところでは、どういった取り組みが行われているかとの質疑がありました。

執行部からは、生活支援サポーターなど民生委員活動をサポートする体制があるところや、日頃から地域の課題を共有し、話し合いができる場を設けている地域のある市町村では、民生委員の充足率が高く、こうした事例を紹介しているとの答弁がありました。

次に、文化生活スポーツ部についてであります。

第 7 号「高知県夢・志チャレンジ基金条例の一部を改正する条例議案」について、執行

部から、国において、大学等における授業料等の減免制度が創設されるとともに、給付型奨学金制度が拡充されることを考慮し、高知県夢・志チャレンジ育英資金の給付額を見直すなどの改正を行うものであるとの説明がありました。

委員から、今回の見直しにより、従来の制度と比べて給付額を引き下げ、多くの奨学生を支援することとした経緯について、どのような議論があったのかとの質疑がありました。

執行部からは、国の新制度により、大学入学金が支援されるとともに奨学金の支給が拡充されることなどから、夢・志チャレンジ育英資金制度においては、入学一時金の給付は廃止することとした。給付月額、家計調査の結果等も踏まえて4万円に引き下げることとしている。これにより、より多くの学生を支援することとしたとの答弁がありました。

別の委員から、この育英資金制度について、財源となる基金の運用状況など、今後の計画はどう考えているのかとの質疑がありました。

執行部からは、篤志家の方からの寄附金を活用した給付型奨学金の制度であり、基金の残高が少なくなっていた。今年度、新たな篤志家の方からの寄附があったため、それを原資として制度を継続することとし、令和2年から5年までの大学進学者を対象として制度を見直したとの答弁がありました。

次に、第1号「令和元年度高知県一般会計補正予算」のうち「聖火リレー実行委員会補助金」について、執行部から、来年4月に本県で開催される東京2020オリンピック聖火リレーにおいて、実行委員会が行う準備等にかかる経費を支援するものであるとの説明がありました。

委員から、聖火リレーのルートに選定されなかった市町村においても、疎外感を感じさせることなく、県内全域でオリンピック・パラリンピックを盛り上げるよう、広報活動等に尽力してもらいたいとの要請がありました。

次に、報告事項についてであります。

文化生活スポーツ部についてであります。

来月、高知市内で開催される「カーニバル00in高知」について、執行部から、約70名の文化人が高知に集結し、シンポジウムや、幅広い分野のテーマを設定したワークショップ、トークなどの講座を展開する。さまざまな感性が触れあい、多様なアイデアが生み出されることを期待しており、そのアイデアを本県の文化や産業の振興につなげていきたいとの報告がありました。

委員から、相当な数のアイデアが出てくると思うが、それをどのように集約し、本県の振興につなげていこうと考えているのかとの質問がありました。

執行部からは、分野が多岐にわたるので、開催に当たっては、関係部局によるプロジェクトチームを設置して、それぞれが催しの運営に関わることとしている。また、今後、アイデアを生かした取り組みへの関わりや、講師との関係の構築などにつながっていくこと

も期待している。事務局としても、さまざまなアイデアを集約し、関係部局につなぐハブ機能を果たしていきたいとの答弁がありました。

次に、執行部から、高知県立大学図書館の改革の取り組みに関する本年度上半期の検討状況について報告がありました。

この中で、選書及び除籍に関する基準であるコレクションマネジメント方針の策定に関しては、高知県立大学においてたたき台を作成し、部局長会議や、学外の特別委員も参加している図書館改革委員会において協議が行われているとの説明がありました。

委員から、コレクションマネジメント方針は、図書館の改革におけるかなめになると思う。策定される前に検討している内容を報告してもらいたいとの要請がありました。

執行部からは、要請があったことを高知県立大学に伝え、何らかの形で示すことができるように検討したいとの答弁がありました。

以上をもって、危機管理文化厚生委員長報告を終わります。

◎上田（貢）委員長 それでは、御意見をどうぞ。

小休にいたします。

（小休）

◎ なし。

◎ いいですか。

◎上田（貢）委員長 正場に復します。

それでは、ただいま協議いたしました文案により、本会議で委員長報告を行うことにいたします。

なお、細部の調整については、正副委員長一任でよろしいでしょうか。

（異議なし）

◎上田（貢）委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

#### 《閉会中の継続審査》

◎上田（貢）委員長 次に、閉会中の継続審査の件を議題といたします。

お諮りいたします。当委員会は、閉会中も継続して審査並びに調査をしたいので、お手元に配付してある案のとおり申し出ることにより御異議ありませんか。

（異議なし）

◎上田（貢）委員長 御異議なしと認めます。よって、さよう決定いたしました。

#### 《県外調査取りまとめ》

◎上田（貢）委員長 続いて、県外調査の取りまとめの件を議題といたします。

お手元に調査出張報告書案を配付しています。

それでは、協議を行います。御意見をどうぞ。

小休にします。

(小 休)

－ 県外調査の取りまとめについて協議－

◎上田（貢）委員長 正場に復します。

本日、皆さんからいただいた御意見や提案については、調査出張報告書として取りまとめたいと思います。取りまとめた調査出張報告書は、議会のホームページで公開します。

なお、細部の調整につきましては、正・副委員長に一任をお願いいたします。

以上をもって、日程は全て終了いたしました。

これで、委員会を閉会いたします。

(10時13分閉会)